

東北大学大学院歯学研究科
インターフェイス口腔健康科学
第85回学術フォーラム

Forum for Interface Oral Health Science

アメリカの歯科医学教育及び歯科医療：
我が国との共通点・相違点

Hiroe Ohyama DMD, MMSc, PhD

Operative Dentistry Department of Restorative Dentistry and
Biomaterials Sciences Harvard School of Dental Medicine
Pre- Doctoral Director

平成27年7月1日(水) 17:15～18:45

歯学部臨床研究棟(C棟)1階大会議室

日本そしてアメリカの両国において、我々歯科医師は最先端の歯科医療を提供している。しかし、日本とアメリカの歯科医療には、共通点もあるが、顕著な違いがあることも承知の事実である。その相違点には、歯科医学教育、大学認証評価制度、歯科医療保険制度、専門医制度、開業歯科医院での治療システム等があげられる。では、何故このような違いがあるのでしょうか。日本、アメリカでの大学歯学部において教育を受け、またアメリカの歯科医学教育に携わって来た経験を基に、その共通点、相違点について考察する。

連絡先: 第85回モデレーター 佐々木 啓一 (口腔システム補綴学分野)

本研究科でも認証評価やPCC-OSCE導入への対応を加速しなければなりません。教員の知識・理解をまず深めることが必要です。教育に携わっている教職員の多くの方々の参加を期待します。

(歯学研究科FDとの共催となります)